



こんにちは！北区の日本共産党 やまべひろしです

土木センターへ、 道路・公園の改善を要望

1月18日、熊本市民連と共産党市議団で各土木センターへ、要請行動を行いました。要望された地域の皆さんも参加し、声を市に届けました。約30件の要望の大部分に積極的な対応が示されました。



慢性的なひどい交通渋滞。道路の拡幅を

■住民からくり返し要望が

北区の県道託麻北部線・楠2丁目交差点。右折レーンがないため右折待ちの車が道路をふさぎ、いつも大変な渋滞です。自転車の通学生が狭い歩道を通行することもあり、危険であると、これまで地元住民から道路の拡幅が重ねて要望されてきました。



■市、拡幅にむけ予備設計を実施

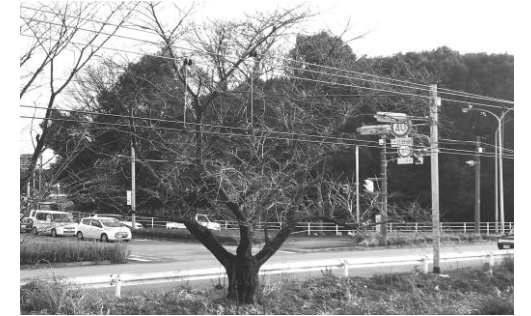
市では現在、拡幅に向けての予備設計を行っており、来年度に詳細設計、その後、道路沿いの建物などの調査を行うとの説明がありました。

これまでも渋滞で見通しの悪くなった交差点で自転車が転倒する事故も起こっています。早期の拡幅工事の実現が必要です。

未整備の雑木林。剪定・伐採と街路灯の設置を

■景観的にも防犯的にも問題

北区、武蔵塚ロータリー内の敷地。かつて星子市長の時代に「龍田の森」として整備されましたが、その後、樹木の剪定などがなされず、荒れ放題の雑木林となっています。今では昼間でも真っ暗な状態です。



またロータリー沿いの歩道



も、街路灯がなく夜間は大変危険です。住民から街路灯の設置要望が出されていました。

■来年度、剪定・伐採と街路灯の設置へ

市からは、来年度から雑木林については剪定を含めた伐採を、またロータリー歩道に4か所の街路灯を設置すると回答がありました。

高齢者・車イスの方にも優しい歩道へ改修を

■陥没、ひび割れなど著しい老朽化

北区武蔵が丘の団地内歩道。整備されてから40年以上になり、陥没やひび割れ、側溝のフタのがたつきなど、通行の際、つまづき、転倒の危険があります。

また歩道の幅が狭く、車イスの方の通行ができないなど改善の要望が出ていました。

■来年度より歩道のやり替えに着手

市からは、来年・再来年で歩道のやり替え工事を実施すると説明。しかし、拡幅については、すでに測量設計も済んでいるので、新たな実施に向けては再度検討が必要とのことでした。

段差の解消などで車イスも通行可能にできるよう改善が必要です。